

資料

(1) 「ちばエコ農業」化学合成農薬及び化学肥料の使用基準（上限）

ア. 土耕栽培「化学合成農薬及び化学肥料の使用基準（上限）」

分類	作物名(作型等)		化学合成農薬 使用回数 (使用成分×回数)		化学肥料 使用量 (窒素成分量 kg/10a)	堆肥目安量(kg/10a)*				収穫期	備考	
			苗購入の場合			牛ふん	豚ふん	鶏ふん	土づくり的堆肥			
水稲	水稲		7	5	4.5	1300	500	300	1700			
		乾田直播	8	6								
普通 畑作物 等	小麦		5		9	1400	500	300	1800			
	さつまいも	早掘	5	5	1.5	500	200	100	600	7～8月	化学合成農薬 は苗切り離し以 降の使用回数	
		トンネル	5	5	1.5					7～8月		
		普通	6	6	1.5					9～11月		
	落花生	マルチ	2		1.5	500	200	100	600			
	大豆	転換1～2年目	4			3	(500)	(200)	(100)	(600)		転換畑以外の 畑作を含む ()は堆肥施用 があった場合 参考とする
		転換3年目以降				6	(900)	(400)	(200)	(1200)		()は堆肥施用 があった場合 参考とする
	そば	夏播き	2		1	400	100	100	500			
	茶	成木園	6		24							
	野菜	だいこん	春どり	4		7.5	1600	600	400	2000	3～4月	
初夏どり			6		5	800	300	200	1000	5～6月		
秋どり			6		1.5					10月		
冬どり			5		4.5					11～2月		
にんじん			トンネル春どり	6		10	1600	600	400	2000		
		秋冬どり	8		7.5							
こかぶ		冬どり	3		9	1600	600	400	2000	12～3月		
		春どり	3		13	2300	900	500	3000	4～5月		
		初夏どり	4		6	1600	600	400	2000	6月		
		夏どり	4		1.5	800	300	200	1000	7～9月		
さといも		マルチ	5	4	9	1600	600	400	2000		種芋を含む	
		トンネル	3	2	7.5							
		露地	5	4	9							
やまといも		普通	11	10	10.5	2300	900	500	3000			
じゃがいも		普通	8	7	16	3100	1200	700	4000			
アビオス		露地	0		2	800	300	200	1000	1～2月		
キャベツ		春どり	8	6	14	2300	900	500	3000	4～6月		
		秋どり	8	6	14					10～11月		
		冬どり	8	6						12～3月		
ねぎ	春どり	15	13	14	2300	900	500	3000	4～5月			
	坊主しらす	13	10	15	2300	900	500	3000	5～6月			
	夏どり	11	10	12	2300	900	500	3000	6～10月			
	秋冬どり	18	16	13	2300	900	500	3000	10～3月			
葉ねぎ	春どり	4		10	1600	600	400	2000	3～5月			
	夏どり	5		9					6～9月			
	秋どり	5		10					10～11月			
	冬どり	4		11					12～2月			
根みつば		2		5	800	300	200	1000	2～4月			
レタス	秋どり	7	5	10	1600	600	400	2000	10～11月			
	冬どり	9	7	12	2300	900	500	3000	12～2月			
	春どり	9	7	12					3～5月			
非結球レタス		7		12.5	2300	900	500	3000		リーフレタス、か きちしゃ(サン チュウ等)		
エンダイブ	秋冬どり	5	4	12.5	2300	900	500	3000	10～3月			
ほうれんそう	春どり	3		6	1600	600	400	2000	3～5月			
	夏どり	4							6～9月			
	秋どり	4		10					10～11月			
	冬どり	3		12.5					12～2月			
こまつな	春どり	3		10	1600	600	400	2000	3～5月			
	夏どり	3		5.5					6～9月			
	秋どり	4		10					10～11月			
	冬どり	3		8.5					12～2月			
みずな	春どり	2		5	800	300	200	1000	3～5月			
	夏どり	3		3.5					6～9月			
	秋どり	2		5					10～11月			
	冬どり	2		6.5					12～2月			

分類	作物名(作型等)		化学合成農薬 使用回数 (使用成分×回数)		化学肥料 使用量 (窒素成分量 kg/10a)	堆肥目安量(kg/10a)*				収穫期	備考
			苗購入の場合			牛ふん	豚ふん	鶏ふん	土づくり的堆肥		
野菜	ルッコラ	春どり	2		6	1600	600	400	2000	3~5月	
		夏どり	3		6					6~9月	
		秋どり	2		10					10~11月	
		冬どり	2		10					12~2月	
	からしな	冬どり	2		10	1600	600	400	2000	2~3月	
	はくさい	秋冬どり	6	4	13	2300	900	500	3000	11~1月	
	ぺかな	ハウス秋どり	2		3.5	800	300	200	1000		
		露地秋どり	2		7	1600	600	400	2000		
	食用なばな	秋冬どり	7		20	3100	1200	700	4000		
	しゅんぎく	秋冬どり	7	6	11.5	2300	900	500	3000	10~4月	
		春どり	6	6	5	800	300	200	1000	4~6月	
	にら	ハウス・トンネル	播種または株分けから1年間19(かつ収穫1期につき2)、次の1年間19(かつ収穫1期につき2)	播種または株分けから1年間17(かつ収穫1期につき2)、次の1年間19(かつ収穫1期につき2)	播種または株分けから1年間17.5、次の1年間9	3100	1200	700	4000	11~6月	
		露地夏どり	播種または株分けから1年間14(かつ収穫1期につき2)、次の1年間17(かつ収穫1期につき2)	播種または株分けから1年間11(かつ収穫1期につき2)、次の1年間17(かつ収穫1期につき2)	播種または株分けから1年間17.5、次の1年間9					7~9月	
	茎葉かんしょ		2	2	7	1600	600	400	2000		化学合成農薬は苗切り離し以降の使用回数
	セルリー	ハウス春どり	11	8	25	3900	1500	900	5000	2~3月	
	ブロッコリー	秋冬どり	6	5	14.5	2300	900	500	3000	10~3月	
春どり		6	5	14	2300	900	500	3000	5~6月		
カリフラワー	秋冬どり	3	3	15	2300	900	500	3000	11~12月	苗購入の場合	
チンゲンサイ		5		7.5	1600	600	400	2000	周年		
タアサイ		5		7.5	1600	600	400	2000	周年		
大葉		10		14	2300	900	500	3000			
モロヘイヤ	露地	2		14	2300	900	500	3000	7~9月		
えだまめ	ハウス	3	2	2.5	800	300	200	1000			
	トンネル	3	2	2.5							
	マルチ	4	3	2.5							
	露地	5	4	3							
さやえんどう	露地	5		4.5	800	300	200	1000			
そらまめ	トンネル	5	4	7.5	1600	600	400	2000			
	マルチ	5	4	4.5	800	300	200	1000			
食用とうもろこし	ハウス半促成	2		17	3100	1200	700	4000	5~6月		
	トンネル	3		17							
	マルチ			16							
	露地	4		13.5					2300	900	500
トマト	促成(長期)	28	26	26	3100	1200	700	4000	10~6月		
	促成(短期)	21	19	18.5	3100	1200	700	4000	10~2月		
	半促成(収穫期2~6月)	17	16	18.5	3100	1200	700	4000	2~6月		
	半促成(収穫期4~7月)	15	14	18.5					4~7月		
ミニトマト	抑制	15	14	12	2300	900	500	3000			
	促成	23	21	28.5	3100	1200	700	4000	10~6月		
	半促成	15	13	18.5	3100	1200	700	4000	4~6月		
きゅうり	抑制	16	14	11	2300	900	500	3000	8~12月		
	促成	32	31	30	4000	1500	900	5100			
	抑制	20	18	13.5	2300	900	500	3000			
しろうり	ハウス早熟	20	17	14	2300	900	500	3000			
	ハウス半促成	15	15	16	3100	1200	700	4000	5~9月	苗購入の場合	
	トンネル・露地	6	6	12	2300	900	500	3000	6~8月	苗購入の場合	
ズッキーニ	抑制	7	6	9	1600	600	400	2000	9~12月		
	半促成	6	6	11.5	2300	900	500	3000	1~5月		
にがうり	ハウス初夏どり	8	8	8.5	1600	600	400	2000	5~8月		
	ハウス夏どり	9	8	19	3100	1200	700	4000	5~8月		
	露地夏どり	9	8	20.5	3900	1500	900	5000	7~9月		

分類	作物名(作型等)		化学合成農薬 使用回数 (使用成分×回数)		化学肥料 使用量 (窒素成分量 kg/10a)	堆肥目安量(kg/10a)*				収穫期	備考
			苗購入の場合			牛ふん	豚ふん	鶏ふん	土づくり的堆肥		
野菜	すいか	ハウス半促成	8	6	10.5	2300	900	500	3000	5~6月	
		トンネル	13	11	12.5					6~7月	
	小玉すいか	ハウス半促成	8	6	9.5	1600	600	400	2000	5~6月	
		トンネル	14	13	10.5	2300	900	500	3000	6~7月	
	メロン	ハウス半促成	15	14	7	1600	600	400	2000	5~6月	
		トンネル	14	12	8					6~7月	
	温室メロン	夏どり隔離床栽培	11	9	8.5	1600	600	400	2000	3~8月	
		地床栽培	12	10	6.5						
	いちご	促成	21	15	18.5	3100	1200	700	4000		化学合成農薬はランナー切り離し以降の使用回数
	さやいんげん	ハウス半促成	10	9	12	2300	900	500	3000		
		トンネル	10	9	13.5						
	ばれいしょ	抑制	4	3	9.5	1600	600	400	2000		
		マルチ	7		7.5						
	ごぼう	露地	7		7.5	1600	600	400	2000		
		秋冬どり	5		11						
	れんこん	春夏どり	4		11	2300	900	500	3000	6~8月	
		普通	2		13.5						
	根しょうが	ハウス	2		13.5	(2300)	(900)	(500)	(3000)		()は堆肥施用があった場合参考とする
		マルチ	7		11	2300	900	500	3000		
	葉しょうが	ハウス	3		7.5	1600	600	400	2000		
		トンネル	3		7.5	1600	600	400	2000		
		露地	3		7.5	1600	600	400	2000		
	アスパラガス	半促成(1年目)	16		16	3100	1200	700	4000		定植年の12/31まで
		半促成(2年目以降)	16		20.5	3900	1500	900	5000		1栽培期間は1/1~12/31
	たまねぎ	マルチ	8	5	12	2300	900	500	3000		
		露地	5	4	15	2300	900	500	3000	5~6月	
	葉たまねぎ	トンネル	2	2	12	2300	900	500	3000	1~3月	
	らっきょう	マルチ	3		11	2300	900	500	3000	6月	
		露地	3		11	2300	900	500	3000		
	なす	促成	28	23	32	3900	1500	900	5000	9~6月	
半促成(短期)		19	17	24	3900	1500	900	5000	2~7月		
半促成(長期)		20	18	30	3900	1500	900	5000	2~11月		
トンネル		15	13	23	3900	1500	900	5000	5~8月		
かぼちや	露地	13	11	17.5	3100	1200	700	4000	6~9月		
	トンネル	6	5	8	1600	600	400	2000			
ピーマン	促成	27		30.5	3900	1500	900	5000	11~6月		
	半促成(短期)	16	15	18.5	3100	1200	700	4000	4~7月		
	半促成(長期)	27	26	23	3900	1500	900	5000	4~11月		
ししとうがらし	半促成	13	13	18.5	3100	1200	700	4000	5~10月	苗購入の場合	
	露地	8	8	18.5					6~9月	苗購入の場合	
オクラ		3		11.5	2300	900	500	3000			
果樹	日本なし	清耕栽培	26		10	1200	500	300	1600		
		草生栽培			13	1800	700	400	2300		
	温州みかん		13		13.5	1800	700	400	2300		
	中・晩生かんきつ類		5		15	1800	700	400	2300		
	ゆず		7		8	1200	500	300	1600		
	レモン	露地	5		15.5	2400	900	600	3000		
	びわ		4		8	1200	500	300	1600		
	キウイフルーツ		3		10	1200	500	300	1600		
	いちじく		9		8	1200	500	300	1600		
	ぶどう		13		3	600	200	100	800		
	くり		3		8	1200	500	300	1600		
	かき		4		8	1200	500	300	1600		
	うめ		6		7	1200	500	300	1600		
	ブルーベリー	ポット栽培以外	3		4.5	-	-	-	-	6~9月	
		ポット栽培	3		0.0288	-	-	-	-	5~7月	化学肥料使用量は「g/ℓ」

(注1) 算出根拠

①堆肥目安量: 上限ではなく、使用の目安。(根拠は別紙のとおり)

②化学合成農薬使用回数: 「ちばエコ農業」技術部会で定めた延べ成分使用回数の1/2

③化学肥料使用量: 「ちばエコ農業」技術部会で定めた窒素施肥量の1/2

(注2) 収穫期が基準月を越えて前後月にまたがる場合は、1ヶ月未満に限り認める

イ. 養液栽培「化学合成農薬の使用基準（上限）」

分類	作物名(作型等)	化学合成農薬 使用回数 (使用成分×回数)		収穫期	備考	
			苗購入の場合			
野菜	養液栽培みつば	2	2	周年		
	養液栽培葉ねぎ	3		周年		
	養液栽培非結球レタス	5	2	周年	サラダ菜を含む	
	養液栽培ほうれんそう	1	1	周年		
	養液栽培クレソン	3	2	周年		
	養液栽培トマト	促成(長期)	28	26	10～6月	
		促成(短期)	21	19	10～2月	
		半促成(収穫期 2～6月)	17	16	2～6月	
		半促成(収穫期 4～7月)	15	14	4～7月	
		抑制	15	14		
	養液栽培ミニト マト	促成	23	21	10～6月	
		半促成	15	13	4～6月	
		抑制	16	14	8～12月	
	養液栽培ピー マン	促成	27		11～6月	
半促成		27	26	4～11月		
養液栽培いち ご	促成	21	15		化学合成農 薬はランナー 切り離し以降 の使用回数	
果樹	養液栽培ブ ルーベリー	バックカルチャー	3		置肥しないこ と	

(注1) 算出根拠

①化学合成農薬使用回数:「ちばエコ農業」技術部会で定めた延べ成分使用回数の1/2

ウ. 林産物（たけのこ）「化学合成農薬及び化学肥料の使用基準（上限）」

分類	作物名(作型等)	化学合成農薬 使用回数 (使用成分×回数)	化学肥料使用量 (窒素分量 kg/10a)	収穫期	備考
	たけのこ (もうそう竹)	0	17	12～5月	竹林の適正な 密度をたもつ ため、親竹を 年1回以上、 伐竹すること。

(注1) 算出根拠

①化学合成農薬使用回数:使用しない。

③化学肥料使用量:「ちばエコ農業」技術部会で定めた窒素施肥量の1/2

(2) 「ちばエコ農業」化学合成農薬に含めない農薬

農薬	備考
除虫菊乳剤及びピレトリン乳剤	除虫菊から抽出したものであって、共力剤としてピペロニルブトキサイドを含まないものに限ること。
なたね油乳剤	
マシン油エアゾル	
マシン油乳剤	
大豆レシチン・マシン油乳剤	
デンプン水和剤	
脂肪酸グリセリド乳剤	
メタアルデヒド粒剤	捕虫器に使用する場合に限ること。
硫黄くん煙剤	
硫黄粉剤	
硫黄・銅水和剤	
水和硫黄剤	
硫黄・大豆レシチン水和剤	
石灰硫黄合剤	
シイタケ菌糸体抽出物液剤	
炭酸水素ナトリウム水溶剤及び重曹	
炭酸水素ナトリウム・銅水和剤	
銅水和剤	
銅粉剤	
硫酸銅	ボルドー剤調製用を使用する場合に限ること。
生石灰	ボルドー剤調製用を使用する場合に限ること。
天敵等生物農薬	(附表に掲げる農薬のとおり)
性フェロモン剤	農作物を害する昆虫のフェロモン作用を有する物質を有効成分とするものに限ること。
クロレラ抽出物液剤	
混合生薬抽出物液剤	
ワックス水和剤	
展着剤	(注)
二酸化炭素くん蒸剤	保管施設で使用する場合に限ること。
ケイソウ土粉剤	保管施設で使用する場合に限ること。
食酢	

注: 本表は有機JAS規格別表2に準拠するものであるが、要領本文第4の3(1)ウ但書の規定により、展着剤の使用は、その有効成分に関わらず化学合成農薬の使用回数に含めないものとする。

内容についての問合せ先（各農林振興センター地域振興部改良普及課）

千葉農林振興センター	0 4 3 (3 0 0) 0 9 5 0
東葛農林振興センター	0 4 (7 1 6 2) 6 1 5 1
印旛農林振興センター	0 4 3 (4 8 3) 1 1 2 9
香取農林振興センター	0 4 7 8 (5 4) 1 3 3 8
海匠農林振興センター	0 4 7 9 (6 2) 0 3 3 4
山武農林振興センター	0 4 7 5 (5 4) 0 2 2 6
長生農林振興センター	0 4 7 5 (2 2) 1 7 7 1
夷隅農林振興センター	0 4 7 0 (8 2) 2 2 1 3
安房農林振興センター	0 4 7 0 (2 2) 8 1 3 2
君津農林振興センター	0 4 3 8 (2 3) 0 2 9 9

著 作 各農林振興センター

編集・発行 千葉県農林水産部安全農業推進課

発行年月 平成21年3月